

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

郷ごうに入いっては
郷ごうに従したがえ

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

こうぼう

弘法も

ふで

あやま

筆の誤り

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

こけつ
虎穴に
い
入らずんば
こじ え
虎子を得ず

____ 月 ____ 日

____ 回目

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ☐ | ☐ |
| なにも | すらすら |
| みず | よめた |
| に | |
| い | |
| えた | |

こ
子はかすがい

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

ころ
さき
つえ
転ばぬ先の杖

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

こもし
子を持つて知る
おやおん
親の恩

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

先さきんずれば
人ひとを制せいす

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

猿さるも
木きから落おちる

____ 月 ____ 日

____ 回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

さんじゅうろっけい

三十六計

に

逃げるに

し

如かず

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

さんになよ
三人寄れば
もんじゅ
ちえ
文殊の知恵

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

しか お もの
鹿を追う者は
やま み
山を見ず

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

じごく
さた
地獄の沙汰も
かねしだい
金次第

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

した なか
親しき仲にも
れいぎ
礼儀あり

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

失敗は
しっばい
せいこう
成功のもと

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

釈迦に説法